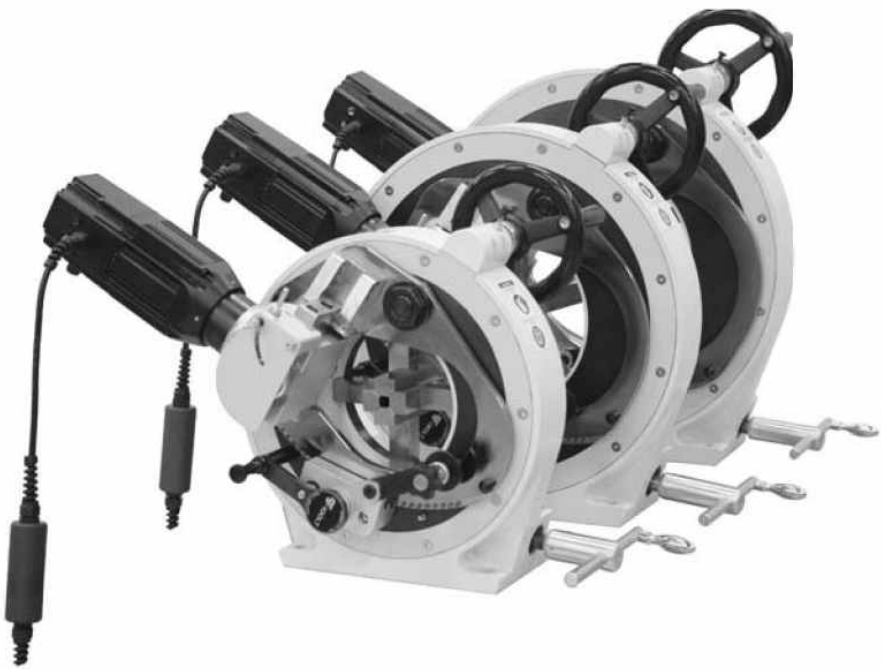
PIPE(TUBE) CUTTER Of Best Technology

S-Cutter

使用説明書

(S-100LT / S-150LT / S-200LT)



安全のための注意事項

S-Cutterをご購入頂き、誠₩にありがとうございます。
正しい使い方を知らせ、使用者の安全を守り、財産上の損害などを防ぐための内容です。
必ずお読みになり、正しくご使用ください。

WE BUILD TOMORROW
DCS ENG

CONTENTS

1. 安全な使用のための注意事項 04

2. 次の内容は必ずお守りください 06

3. 使用前の確認事項 08

4. S-□□□LT 使用説明書 10

5. 品質保証書 29

安全な使用のための注意事項

01　作業場を整理整頓してください。
散漫な作業場と作業台は事故をもたらします。

02　周りの環境をご考慮ください。
雨に降られないようにしてください。
多湿な場所や水気のある所で使わないでください。
作業場所に明るい照明をご設置ください。
可燃性液体やガスの周りでは使わないでください。

03　電気の衝撃からお守りください。
接地された部品(例えば、上水道管、ヒーター、電気加熱台、
冷蔵庫)への身体接触を避けてください。
必ず接地線を連結してご使用ください。

04　外部人が接近しないようにしてください。
外部人が工具や延長コードに接触しないようにしてください。
全ての訪問者が作業場所に近付けないようにしてください。

05　製品を安全にご保管ください。
工具を使わない時は必ず電源を遮断し、乾燥していて施錠可能な場所に
そして外部人が近付けない所にご保管ください。

06　過負荷状態で作業しないでください。
指定された出力範囲内でより効率的かつ安全に作業することができます。

07　指定された工具をお使いください。
本社から供給する標準付属品をお使いください。
工具をその工具の使用目的や作業範囲から脱した所で使わないでください。

08　適した作業服をご着用ください。
装飾品やダブダブの服を着用しないでください。
あなたは工具の動く部分によってけがをする恐れがあります。
野外作業の時は滑りにくい靴を着用することをお勧めします。

09　保護眼鏡及び保護用手袋を必ずご着用ください。
飛散するチップは目に重大な傷害を与える恐れがあり、
身体に接触すると火傷などの傷害を与えることがあります。

10　電線を他の目的に使わないでください。
電線を掴んで製品を引っ張らないでください。また、
プラグをコンセントから分離する時、電線を引っ張らないでください。
電線を熱や油、そして鋭利なものからお守りください。

11　工作物を固定してください。
固定装置を使って工作物を固定してください。

12　作業に集中してください。
切断した配管材の挟まれ、落下などにご注意ください。

13　製品を慎重に管理してください。

製品を清潔に維持し、効率的かつ安全な作業を行ってください。
適切な潤滑剤で管理し、長時間使用しない時は防錆剤を塗布して腐食を予防してください。
管理規定と工具取り替え時の指示事項を遵守してください。
定期的にプラグと電線をチェックし、損傷の時は専門家に修理を依頼してください。
接続連結電線を定期的に点検し、損傷品をお取り替えください。
操作盤を乾燥した状態に維持し、油やグリースが付かないように気をつけてください。

14　電源を切ってください。

使用しない時や点検時、工具取り替え時、そして刃などの付属品を取り替える時は、電源を切ってください。(非常停止スイッチを押してから作業してください。)

15　作動前にご確認ください。

工具(刃)がしっかり締め付けられているか、刃の向きと回転方向が合っているかご確認ください。
配管がしっかり締め付けられているかご確認ください。
配管の回転方向が正しいかご確認ください。(正逆回転スイッチ正方向(CW)確認)切断及び面取り速度と回転速度が合っているかご確認ください。

16　ミスによって機械が作動しないようにご注意ください。

電源が入っている状態で運₩搬しないでください。
電源を入れる時、作動スイッチがオフになっていることをご確認ください。

17　電源供給

使用目的に許可されそれに相応する表示がされている連結電線を使用してください。
使用される電源線に他の装備を混用して使用しないでください。
単独的な漏電遮断機を設置して使用してください。

18　常にご注意ください。

作業過程を観察して流れに合わせてお進めください。
集中力が低下した場合、製品を使わないでください。
切断速度と回転速度を無理に操作しないでください。

19　製品に損傷があるかご確認ください。

製品の再使用前に安全装置や若干損傷した部品が完全で用途に相応しい機能を発揮するのか細かくご確認ください。
どこかに挟まれていないか或いは部品が損傷を受けていないかご確認ください。
全ての部品が正常的に組み立てられ、全ての調整を満たしてこそ工具の完全な作動が保障されます。
損傷された安全装置や部品は取り扱い説明書で別途言及しない限り、お客様サービスセンターで修理または取り替えなければなりません。

20　注意!

皆様の安全のために使用説明書に明示されているか、製品供給業者がお薦めする付属品と工具をお使いください。取り扱い説明書やカタログで推薦していない他の製品の付属品及び追加工具の使用は皆様の個人的な事故を意味します。

21　専門家に修理を依頼

供給される製品は該当する安全規定に一致します。修理は必ず専門家に依頼しなければなりません。そうしない場合は事故の恐れがあります。

次の内容は必ずお守りください。

- 本使用説明書の指示事項は製品の安全な使用において重要な情報が含まれています。これらの指示事項を遵守しない場合、死亡、深刻な傷害及び大規模の財産の損害をもたらす恐れがあります。

- 安全な使用のために危険の度合いによって「警告」と「注意」で表示しており、その意味は次の通りです。

標識		説明
⚠	警告	∴ 指示事項を違反する場合、深刻な傷害や死亡事故の発生可能₩性が非常に高い場合
⚠	注意	∴ 指示事項を違反する場合、深刻な傷害や死亡事故の発生可能₩性がある場合 ∴ 指示事項を違反する場合、製品が使えない故障や性能₩低下が発生する可能₩性がある場合

- 製品の取り扱い及び使用の際に発生しやすい事故を事前に防止し、安全に作業をするために注意事項を記録しました。このような安全のための警告と注意事項は起こり得る全ての事項や状態を示しているものではありませんので、作業時または保管時に細かい注意が必要です。最後までよくお読みになりご理解の上、事故が起こらないようにご注意ください。

- 特殊安全守則
「警告」や「注意」の標識は、特定の条件下で危険が発生する恐れがあるので、注意を要するという記号です。

警告

- **必ず電源に接地がつながっているがご確認ください。**
  製品のアース線が接地されていない場合、漏洩電流などにより感電事故が発生する恐れがあります。
- **切削液や水などを注ぎながら使わないでください。**
  電気モーターに水やその他の液体により、感電または死亡事故が発生する恐れがあります。
  切削液は時々工具が若干濡れる程度でのみお使いください。
- **雨が降ったり、工具が濡れた状態では使わないでください。**
  電気ショックにより深刻な傷害または死亡につながる恐れがあります。
- **運転中に指、手またはその他の体の一部や服などが刃先に触れないようにしてください。**
  指、手またはその他の身体の一部が巻き込まれる場合、深刻な傷害をもたらす恐れがあります。
- **運転中に配管とローラーが噛み合う所に指、手またはその他の体の一部が触れないようにしてください。**
  指、手またはその他の体の一部が巻き込まれる場合、深刻な傷害をもたらす恐れがあります。
- **製品に電源を供給する前に運転スイッチがオフになっているかご確認ください。**
  スイッチがオンになっている状態で電源を入れると、製品がいきなり急}回転して深刻な傷害を被る恐れがあります。
- **製品の圧着装置には体のどの部分も触れないようにしてください。**
  深刻な傷害をもたらす恐れがあります。
- **必ず安全装備をご着用ください。**
  作業の際に発生するチップが飛散して目などに深刻な傷害をもたらす恐れがあります。

注意

- **当社から供給される製品　及び　切削刃のみを指定された用度に使用してください。**
  仕方なく当社供給品の使用が難しい場合には品質が認証された(国家認証以上)製品を使用してください。
  この指示事項を遵守しない場合、製品性能₩の低下及び体に深刻な傷害を与える恐れがあります。
- **製品を回転させたまま放置しないでください。**
  周りの作業者が傷害を受ける恐れがあります。
- **切削チップの飛散向きを危なくない方向へ向けてください。**
  切削チップが引火性物質に触れる場合、火事が発生する恐れがあり、体に触れる場合は火傷をする恐れがあります。
- **手袋を着用し、長袖の服を着てください。**
  飛散チップによって火傷をする恐れがあります。
- **連結コードはなるべく短くしてお使いください。**
  余りにも長すぎるか細すぎる線を使うと、電圧の降下が大きくなり、モーターのパワーが弱くなって、過負荷の原因になり得ます。
- **作業前に必ず試運転をしてください。**
  機械の異常有無を判断してより安全な作業を行うことができます。

使用前の確認事項

1. 漏電遮断機の確認

電源が供給されるすべての系統に装備別に規定する定格容量の漏電遮断器が設置されているのかを確認してください。
電源が供給される全ての系統にアース線がつながっているかどうかご確認ください。

2. 連結コード

電源の位置が遠く離れている時は、連結コードをお使いください。連結コードは電流の流れに支障がないように適切な長さと太さのものをお使いください。長すぎるか、細すぎると電圧の降下が大きくなり、モーターのパワーが弱くなるだけでなく、過負荷の原因になります。できるだけ短くしてお使いください。

コードに損傷がある場合、直ちに取り替えまたは修理しなければなりません。

3. 使用電源の確認

必ず銘板に記載された電源でご使用ください。

4. スイッチが切れているか確認

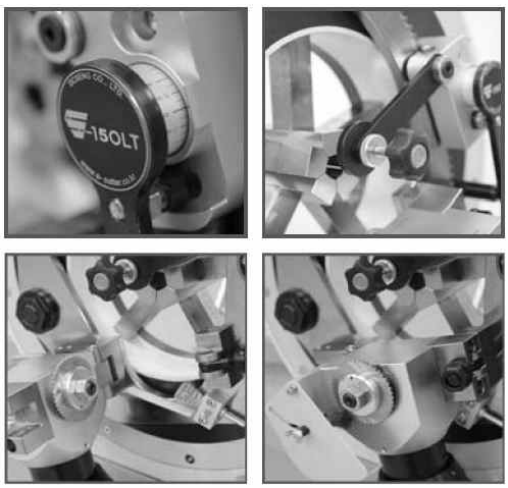
スイッチが入っていることを知らないままプラグを電源に差し込むと、突然の製品の回転により不意の事故に合うことがあり得ます。

S-100LT / S-150LT / S-200LT

価性比(価格対比性能比)最高のオビタル切断装備！

世界最大の便宜性と作業速度！

装備能力 : 1/4″ ~ 8″ (Pipe O.D 6mm ~ 220mm)



S-□□□LTの使用方法

S-□□□LT 使用説明書

使う前に

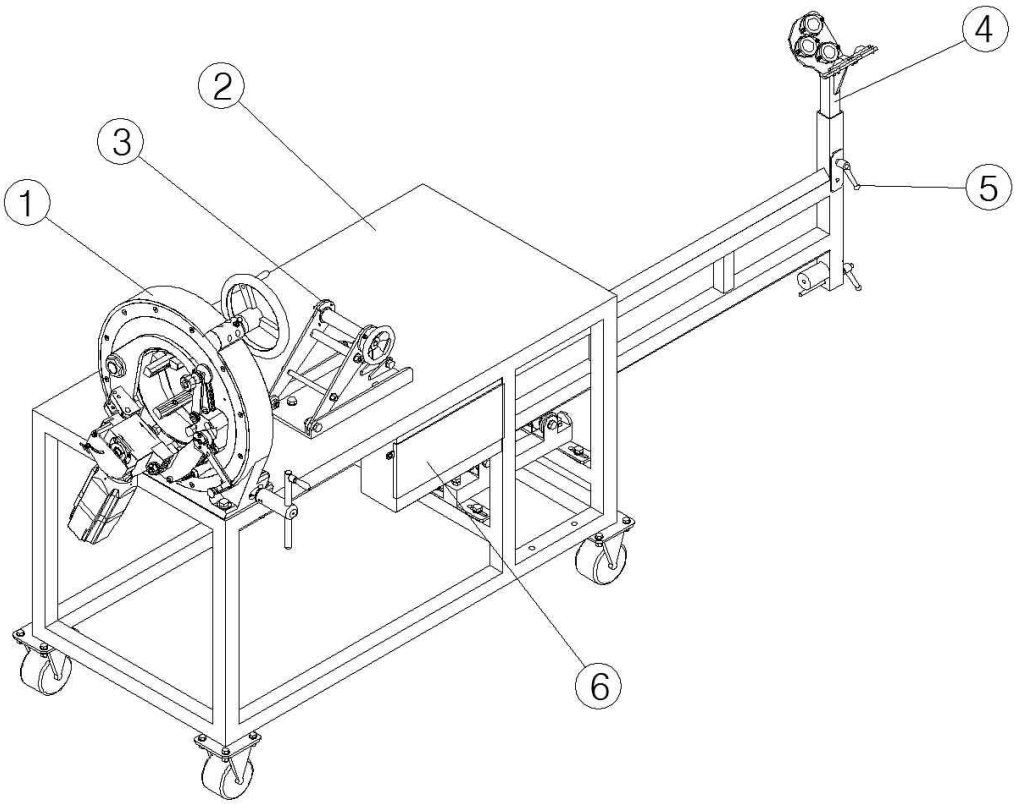
本使用説明書はS - 100LT/ 150LT / 200LTの共通に使う使用説明書です。
供給先や本{社で教育する使用方法に関する内容を熟知してください。
教育を履修していない者は履修者から教育を受けてからお使いください。
切断、面取り刃を取り替える時は必ず電源を切ってください。
装備に使用される消耗品(カッティング刃、面取刃など)は本社から供給されるものを使用してください。
使用電圧を確認し、必ず接地をしてからお使いください。
作業前に、保護眼鏡などの保護具を必ず着用してください。
使用直後は、切断及び面取りツールが非常に熱いので火傷にご注意ください。
長時間使用時、切断負荷によりギアボ{ックスの温度が上昇することがあり得ますので火傷にご注意ください。

目录

01. 各部の名称　及び　操作部説明
02. カッティング刃　及び　面取刃装着
03. 管材セッティング
04. カッティング使用方法
05. 面取使用方法
06. クラッチ使用方法
07. カッティング　及び　回転速度調節
08. 維持補修　及び　点検事項
09. 製品諸元

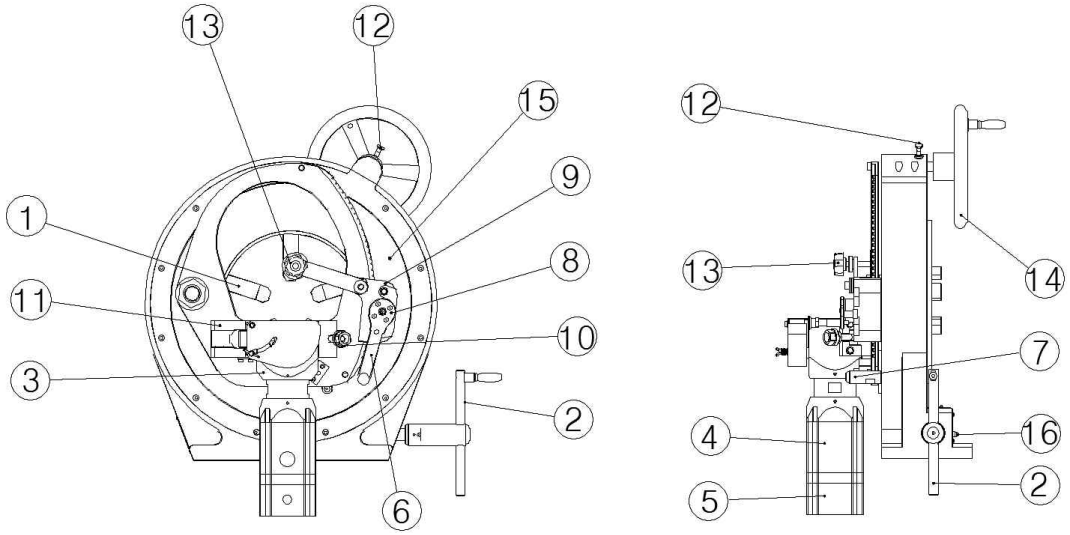
1. 各部の名称及び操作部の説明

● 各部の名称及び機能



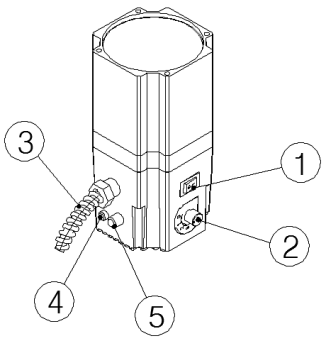
NO	名称	機能
1	マシン	パイプカッティング & チャンファリングマシン
2	S-□□□LT_MT(マシンテーブル)	作業台
3	S-□□□LT_RS	パイプ移送装置
4	S-□□□LT_VS(遊動型)	長い管材支え 及び 移送
5	固定レバー	管径による位置決定ボルト
6	工具箱	工具保管箱

● 機能部の名称



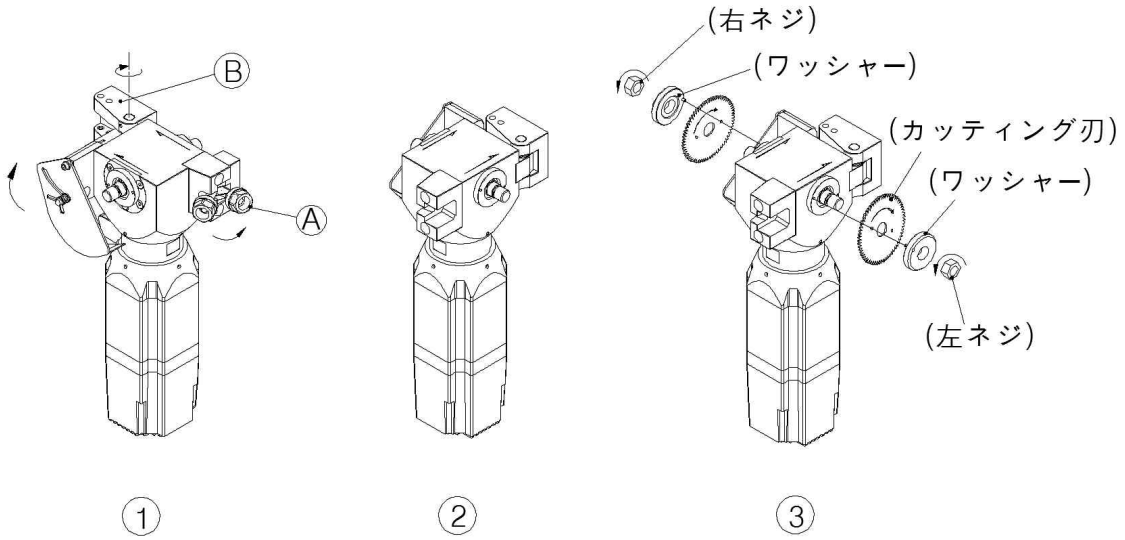
NO	名称	NO	名称
1	バイス爪	9	カッティングハンドルギアボックス
2	バイスハンドル	10	カッティングヘッド固定ナット
3	カッティングヘッド	11	フォールディングブラケット
4	カッティングモーター커팅모터	12	回転ハンドルロック装置
5	モーター制御部	13	面取ストッパー
6	カッティングハンドル	14	回転ハンドル
7	カッティングハンドル固定ホール	15	回転オイルニップル
8	クラッチ	16	バイスオイルニップル

● 操作部の名称



NO	名称	機能
1	カッティングスイッチ	ON/OFF 及び アラームリセット
2	カッティングボリューム	カッティング速度調節
3	電源ケーブル	電源供給ケーブル
4	LEDランプ	異常症状 状態表示灯
5	ヒューズ	5Ø-20mm, 250v-10A

2. カッティング刃　及び　面取刃装着



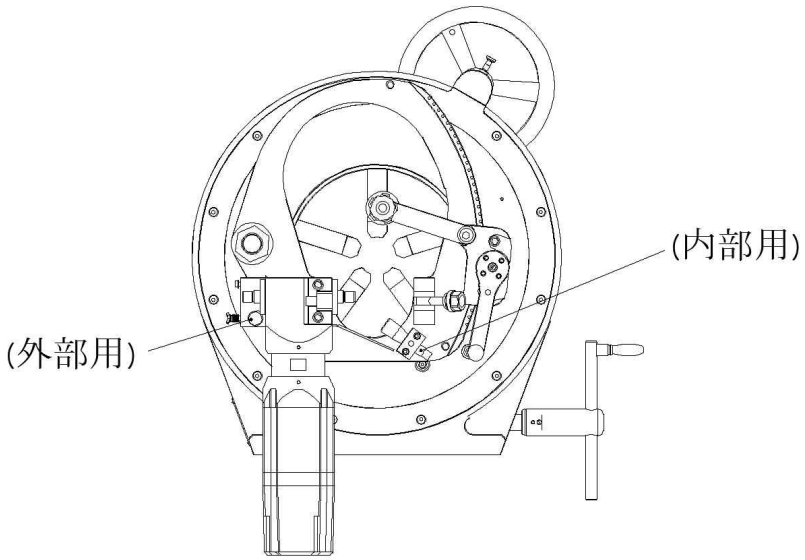
① 　カッティングヘッドを横の回すためにカッティング固定ナット(A)を外して矢印方向に移した後、カッティングヘッドを手で持ってフォールディングブラケット(B)方向に回す。

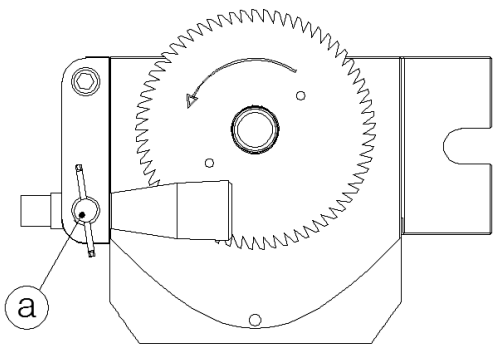
② 約90°ぐらいが回しながら最後にカチッと音がが出るまでに回して、カッティングハンドルギアボックスが確かに固定された状態を確認する。

③ 　カッティング刃とカッティングヘッドの回転する矢印を確認してカッティング刃をカッティング軸に入れた後、ワッシャーの固定ピンがカッティング刃とカッティング軸のホールに合わせた後にナットで固定させる(22mmスパナで確実に締める)
カッティングヘッドを持って復帰させた後にカッティングヘッドの固定ナット(A)を22mmスパナで確実に締める。
(但し, S-100LT 製品はレンチボルト(6mm)を使用する.)

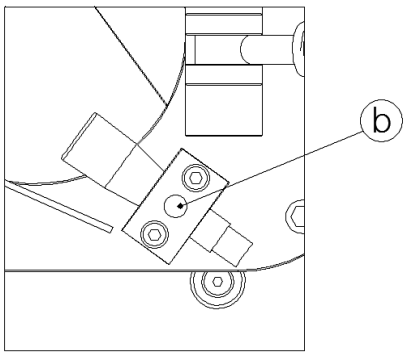
2-1　ブラシ固定

1) ステンレスブラシは下記絵に見えるようにカッティング刃に密着させて外部用はちょうボルト(ⓐ)で固定させて、内部用はローレットボルト(ⓑ)で確実に固定させる。ステンレスブラシはのこぎり刃の寿命　及び　切削品質を向上させるもので最大に使用することを勧めます。





(外部用)



(内部用)

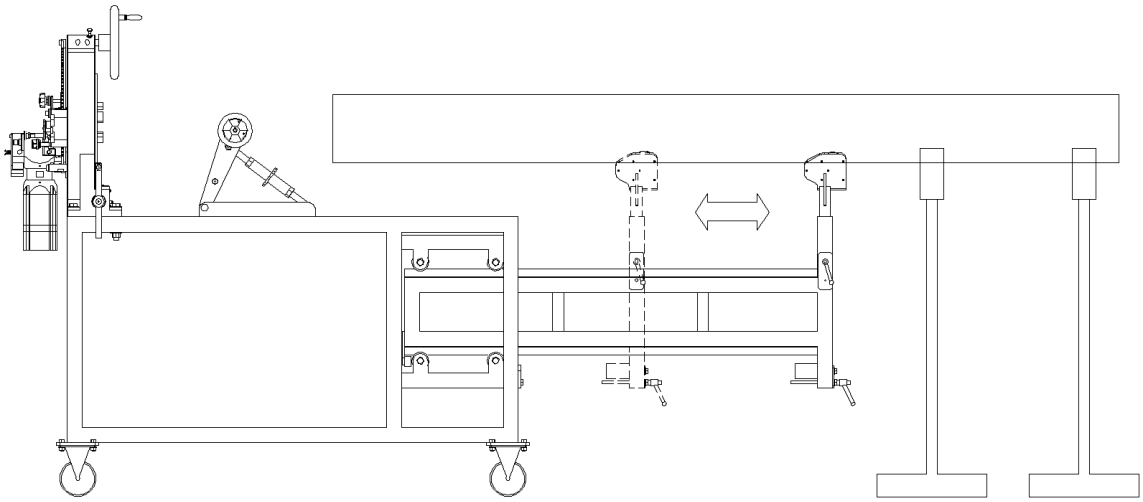
3. 管材セッティング

3-1. S-□□□LT_VS： 管財の高さ調節

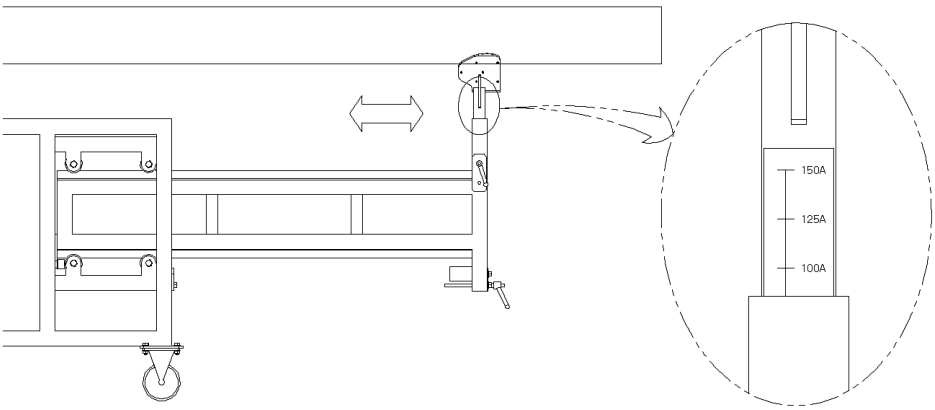
1) パイプが長い場合には下記の絵のようにテーブルの後ろ側に設置されている移動用S-□□□LT_VSをパイプの長さに合うように拡張させて使用する。

2) 基本形テーブル(S-□□□LT_MT)はパイプの長さが最大4mまでに使用可能で、6mパイプを使用する場合には絵のように補助支持台を1個以上別度に使用する。

3) 基本形テーブル(S-□□□LT_MT)は軽量型で設計された製品で、重量物の管材を使用しようとする場合には現場で制作された補助支持台を1個以上別度に使用する。



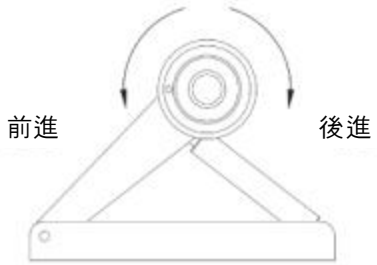
4) 作業する管財の管径に従って下記の絵のように S-□□□LT_VS柱にある目盛りを上段部と合わせて使用する。

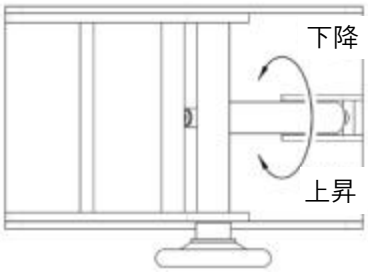


3-2. S-□□□LT_RS： 管材移送装置

1) 管材移送装置であるS-□□□LT_RSは管材をマシンに固定した後、絵のように上、下の高さを調節してウレタンが管材の下部に密着するようにした後、ハンドルを回して管材が前進 または 後進しながら切断位置を設定するようにして使用する。

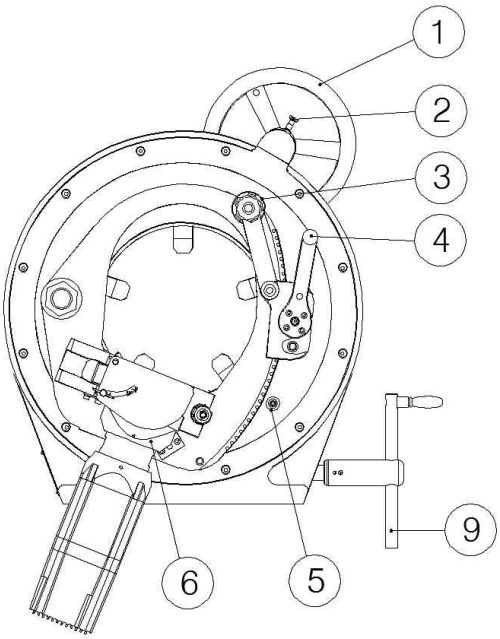
2) S-□□□LT_RSは配管の外径サイズによって調節して使用されて、同一管径が繰り返して使用される場合には追加的に操作する必要は無い。

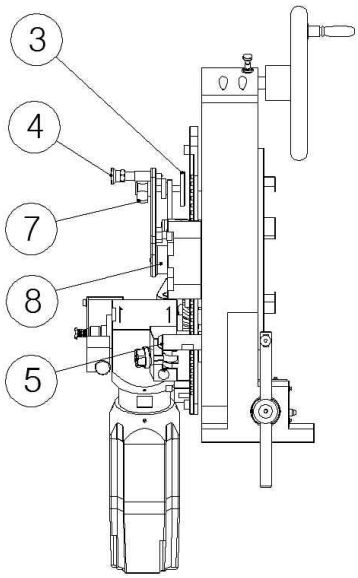




4. カッティング使用方法

4-1　各部の名称

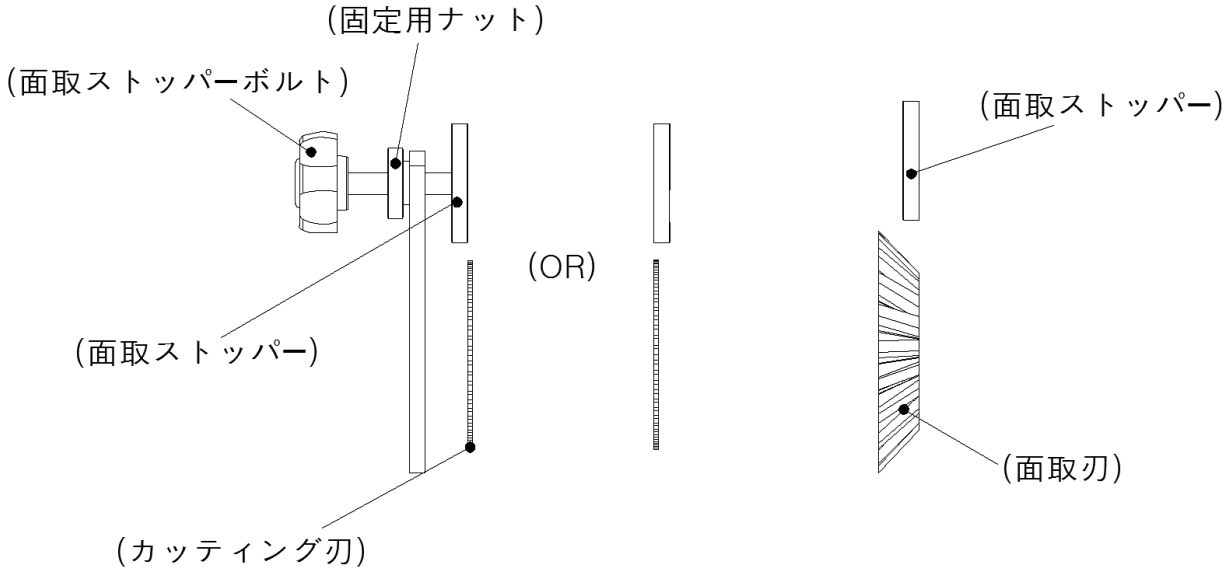




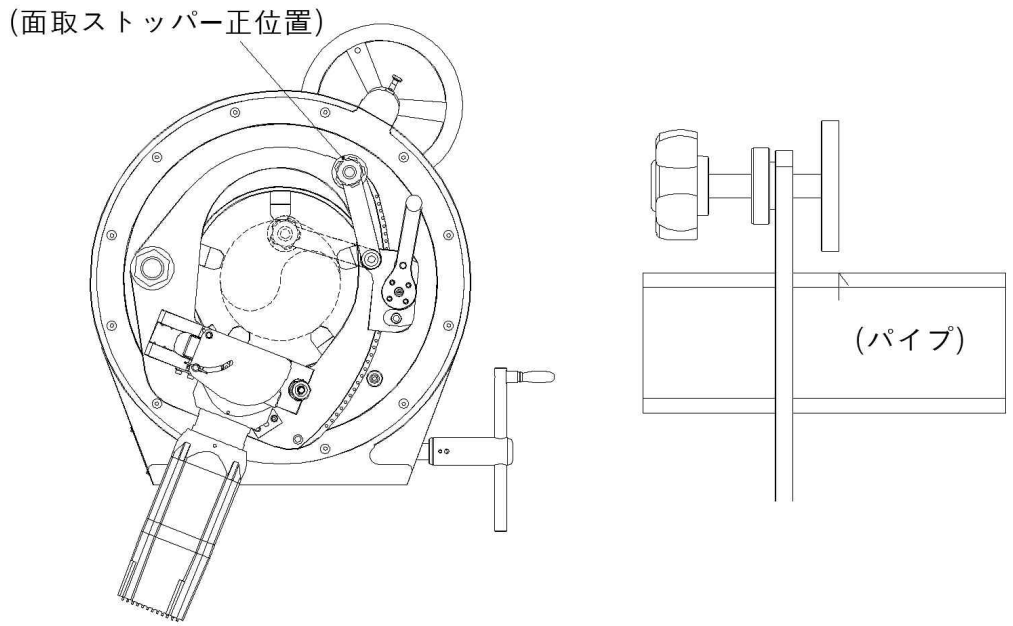
NO	名称	NO	名称
1	回転ハンドル	6	カッティングヘッド
2	回転ハンドルロック装置	7	面取ストッパーボルト
3	面取ストッパー	8	カッティングハンドルクラッチ
4	カッティングハンドル	9	バイスハンドル
5	カッティングハンドル固定ホール		

4-2　面取ストッパー使用方法

1) 下記絵のように面取ストッパーボルトを左右に回しながら面取ストッパーがカッティング刃　または　面取刃が望む切削位置と一致するように設定する(メモリ機能)

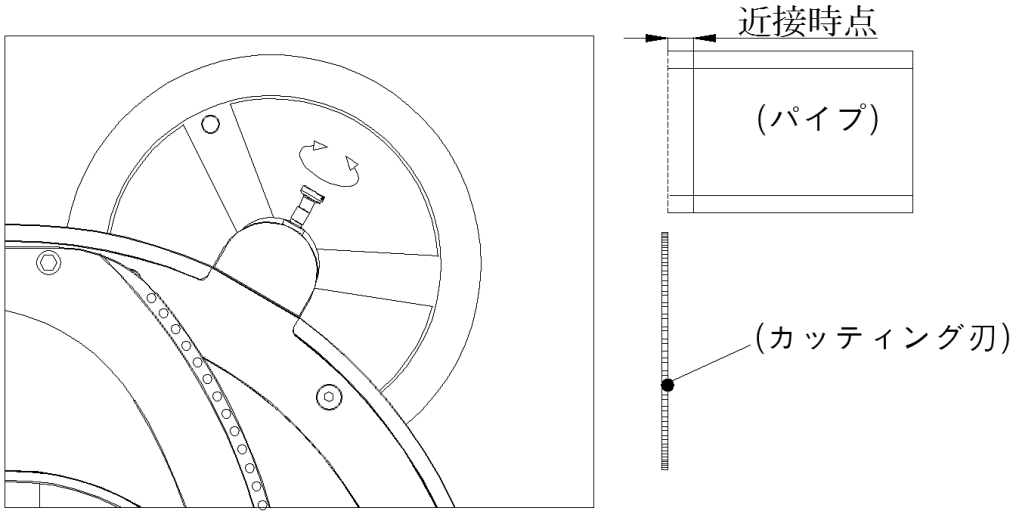


2) 下記絵のようにパイプをカッティングしようと表示したマーキングラインと面取ストッパーに設定されたどの一面を一致させて使用し(メモリ)、　面取ストッパーを使用しない場合には配管の干渉がない正位置に復帰させること。

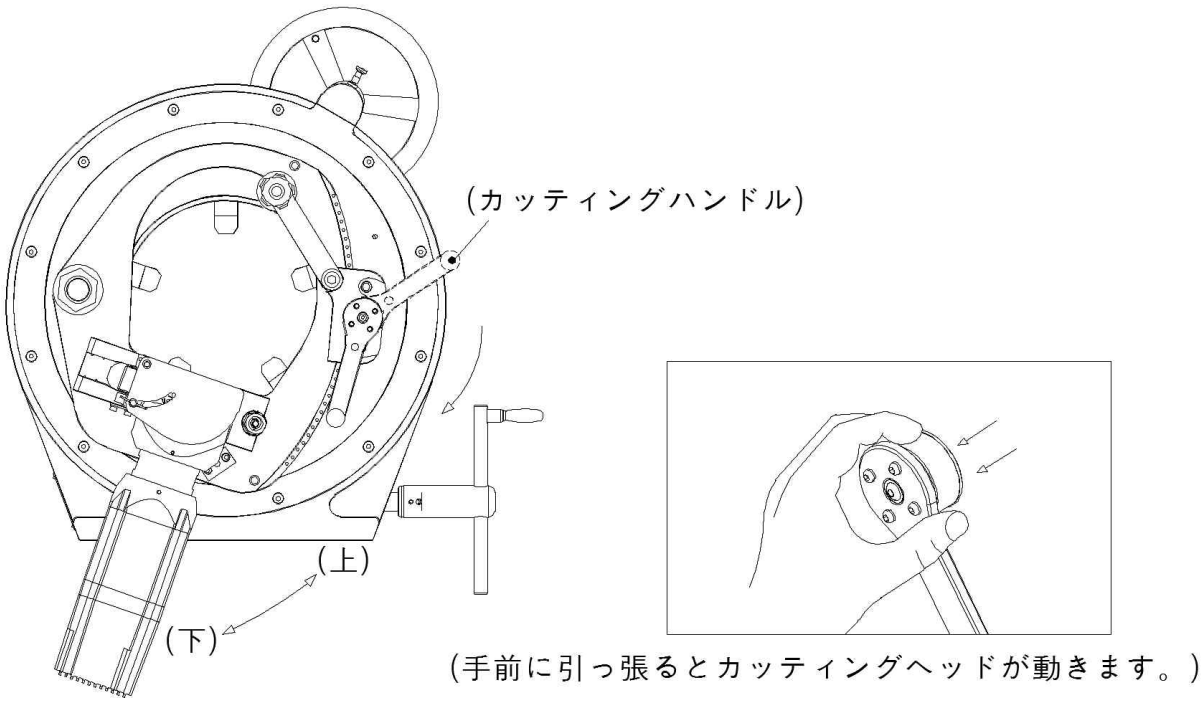


4-3　カッティング位置選定

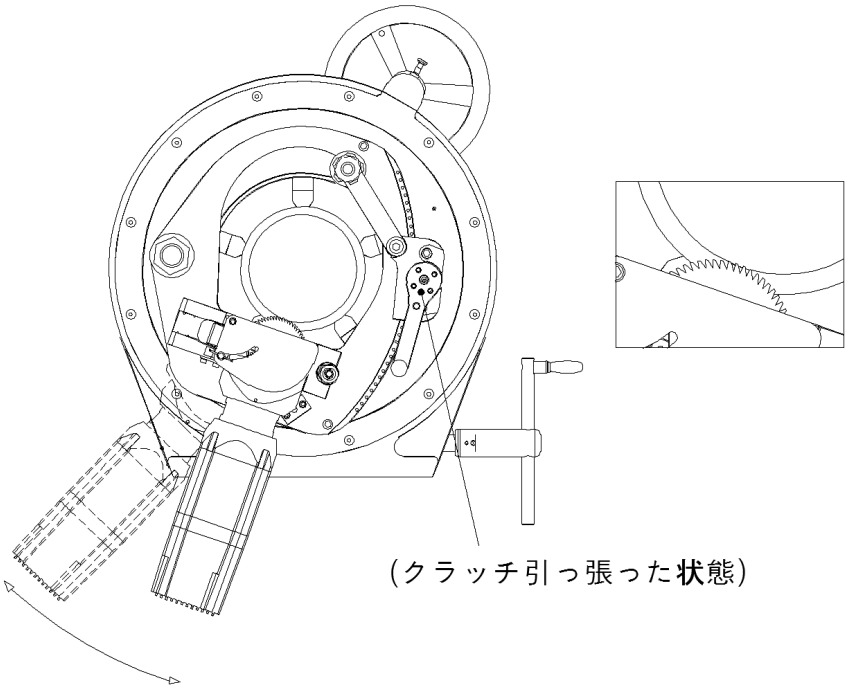
1)　下記絵のように回転ハンドルロック装置を左右に少し回して内部ギアを固定して(安着させる)、カッティングしようとするパイプの断面がのこぎり刃に接近するようにパイプを臨時固定する。



2)　下記の左側絵のようにカッティングハンドルの固定ホールに安着させた後、右側絵のようにカッティングハンドルクラッチを引っ張りながらカッティングヘッド(電動モーター)を手で持って上下に動く。

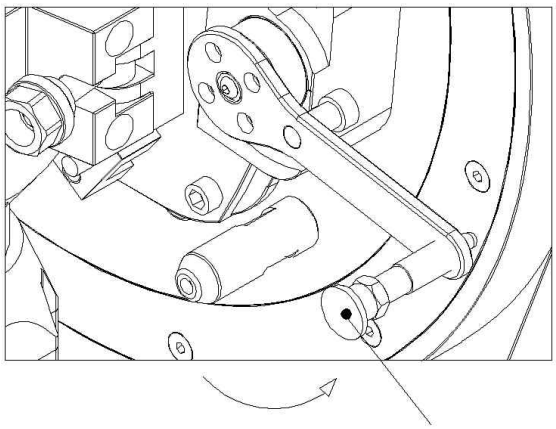


3) 下記の左側絵のようにカッティングヘッド(電動モーター)を上下に動きながら、右側絵のようにカッティング刃が適切な深さの値を持つように調整した後にカッティングハンドルクラッチを置く。
(カッティングハンドルクラッチは手を外すと自動に復帰される)

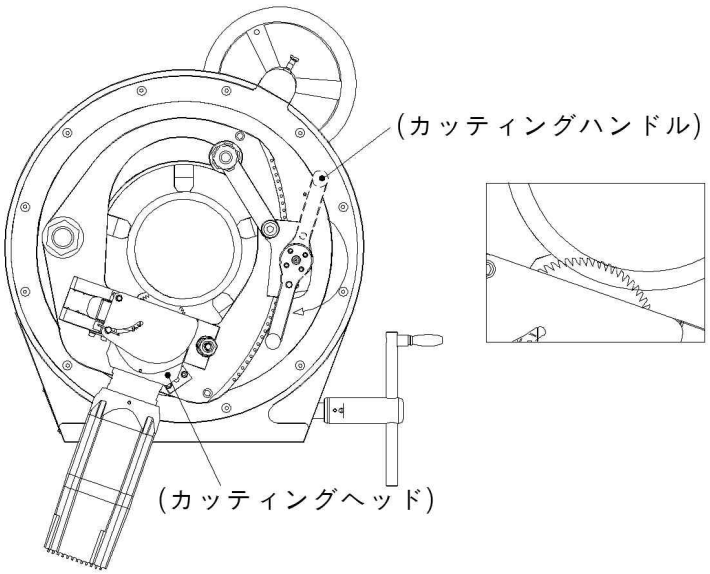


4-4 カッティング方法

1) カッティングハンドルをカッティングハンドル固定ホールから分離してカッティング刃が配管と十分に離れるようにする。
2) パイプカッティング位置を合した後(4.2参照)、バイスハンドルを回してパイプを確実に固定する。



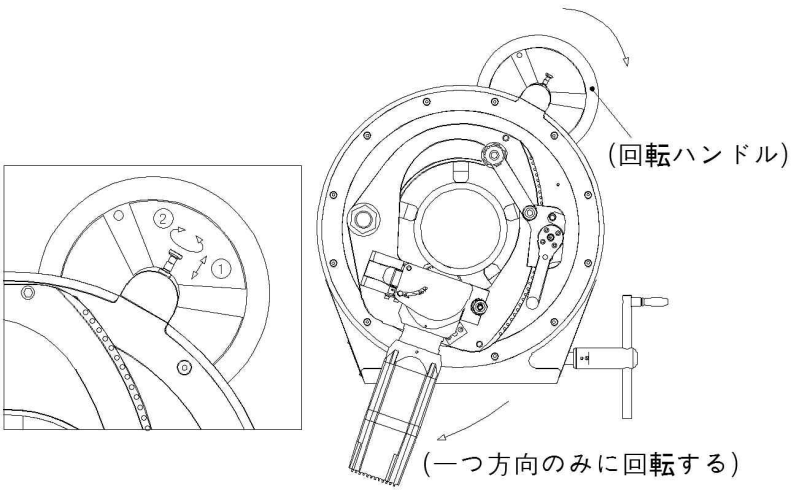
3)　カッティングヘッド(モーター)に設置された電源スイッチをつけて、カッティングハンドルをゆっくりカッティングハンドル固定ホールに回転させ(下降)カッティング刃が右側絵のようにパイプを貫通する。
(カッティングハンドルがカッティングハンドル固定ホールに安着されると4.3ののこぎり刃位置と一致するようになる)



4) 下記絵のように回転ハンドルロック装置を上に持ち上げ解除した後、回転ハンドルを下記右側絵の矢印方向に回してカッティングする(回転ハンドルは一つ方向のみに回転する)。
*注意)回転ハンドルロック装置(レストポジション型)：①番　作動後②番　動作(位置かかり段に安着させる)

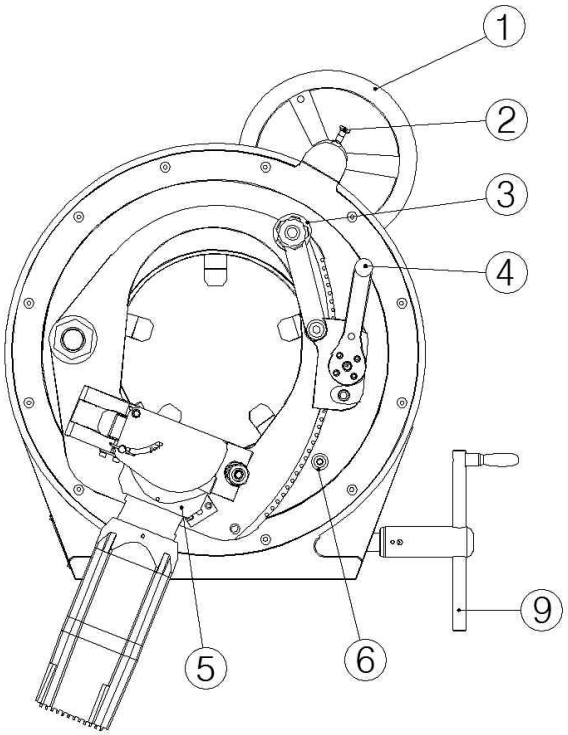
5) カッティングが終わる時には切断されたパイプが落下されないように格別に注意すること。

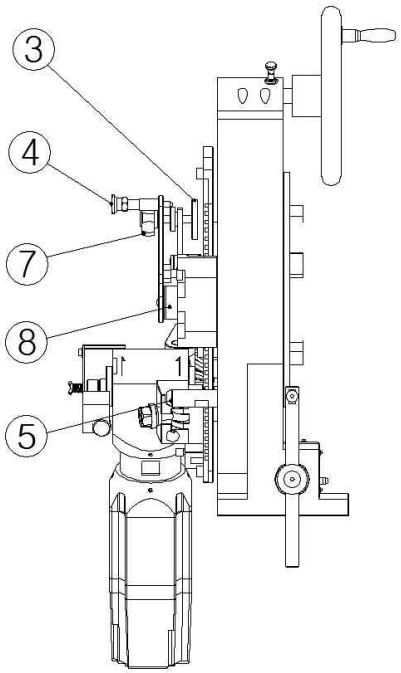
6)　切断作業が終わった後、カッティングハンドルをカッティングハンドル、固定ホールから分離してカッティング刃を配管の切断面と十分に離れるようにする。
*注意)カッティングハンドル進入時(最初カッティング作業/パイプ貫通作業)数回にわたってゆっくり進入させる。 (進入―復帰―進入の繰り返し作業)



5. 面取使用方法

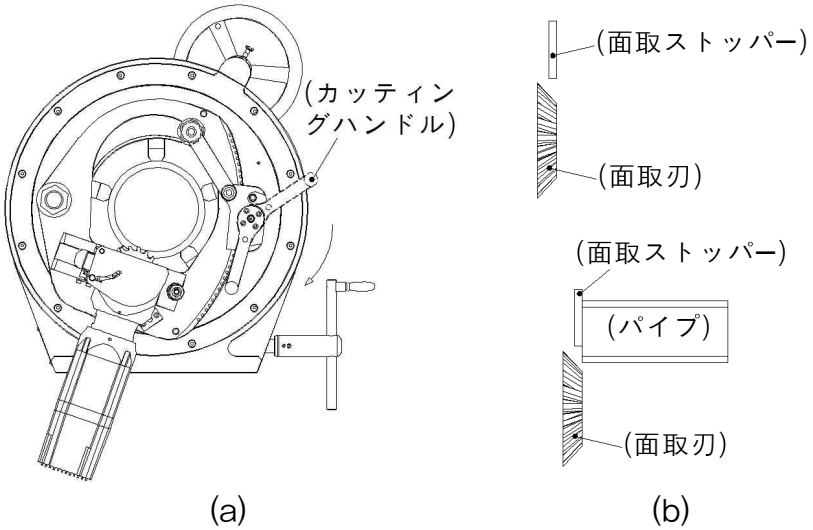
5-1　各部の名称





NO	名称	NO	名称
1	回転ハンドル	6	カッティングハンドル固定ホール
2	回転ハンドルロック装置	7	面取ストッパーボルト
3	面取ストッパー	8	カッティングハンドルクラッチ
4	カッティングハンドル	9	バイスハンドル
5	カッティングヘッド		

5-2　面取ストッパー使用方法



1) 上の(a)の絵のようにカッティングハンドルを下に移動させてカッティングハンドル固定ホールに安着させる。

2)　上の(b)の絵のようにパイプの面取りする部分が面取刃の刃先側の任意区間に位置するように面取ストッパーボルトを左、右に回しながらパイプの位置を任意的に設定する(面取刃の任意的な位置決定4.3参照)

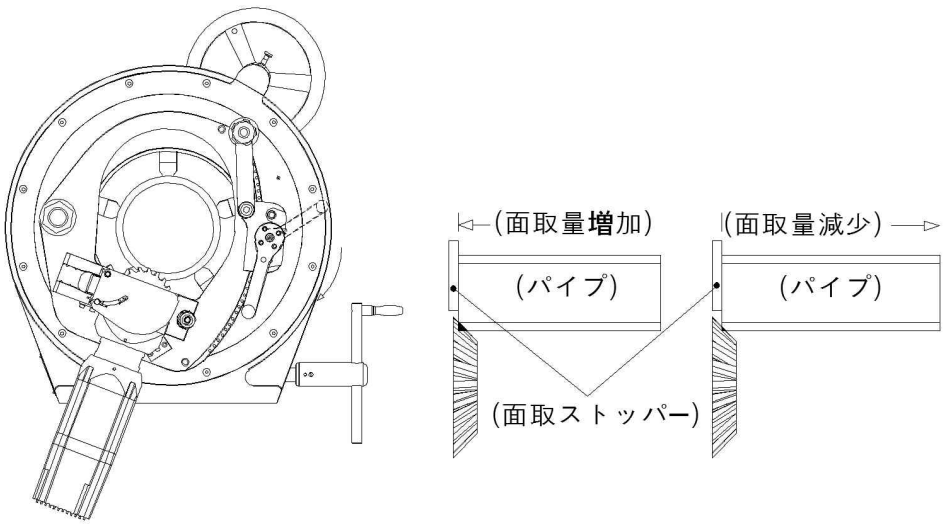
3) 任意的な設定が完了するとカッティングハンドルをカッティングハンドル固定ホールから分離して上の方に復帰させる。

*注意)面取刃部は傾斜面が均一に使用されるようにすることが面取刃使用寿命を伸ばせる。

4) パイプを面取ストッパーに密着させた後、パイプを確実に固定させて面取作業を任意的にやって見る。

5) 任意的な面取作業の結果により下記絵のように面取ストッパーを精密に調節し固定して、面取ストッパーを正位置させた後に面取作業を進行する。

*注意)望む面取結果を得るまでに数回にわたって調節して使用します。



5-3　面取方法

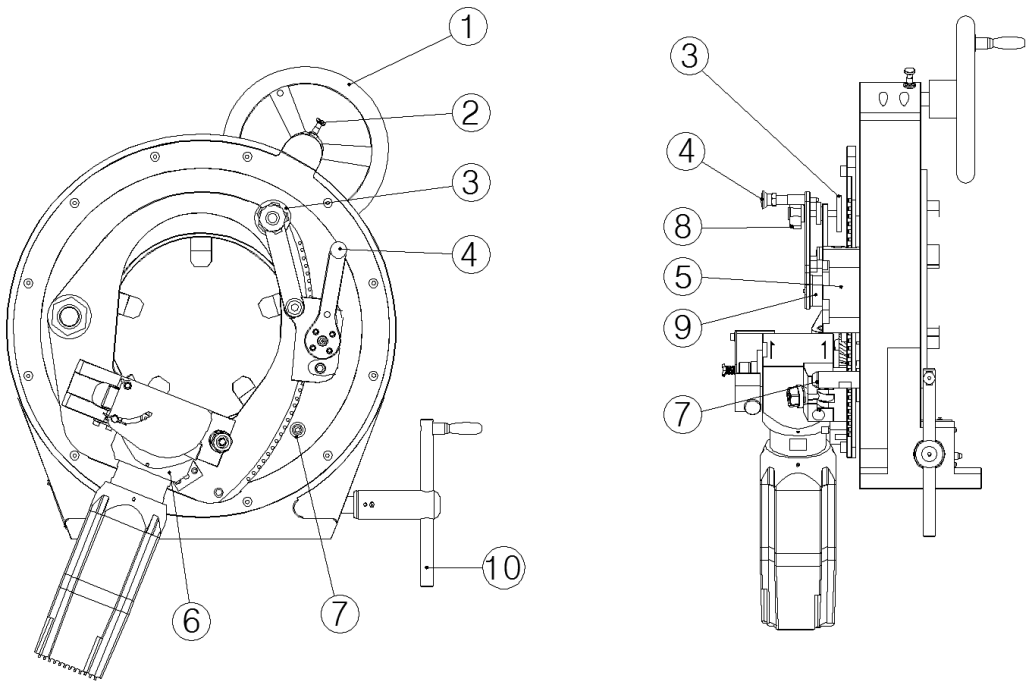
1) カッティング方法4.4を参考して面取作業をする。

*注意)カッティングハンドル進入時(最初面取開始時)数回にわたってゆっくり進入させる。(進入―復帰―進入の振り替えし)

*注意)面取ストッパーを活用して繰り返し作業の効率と一律的な面取品質を維持することができる。

6. カッティングハンドルクラッチ使用方法

6-1　各部の名称

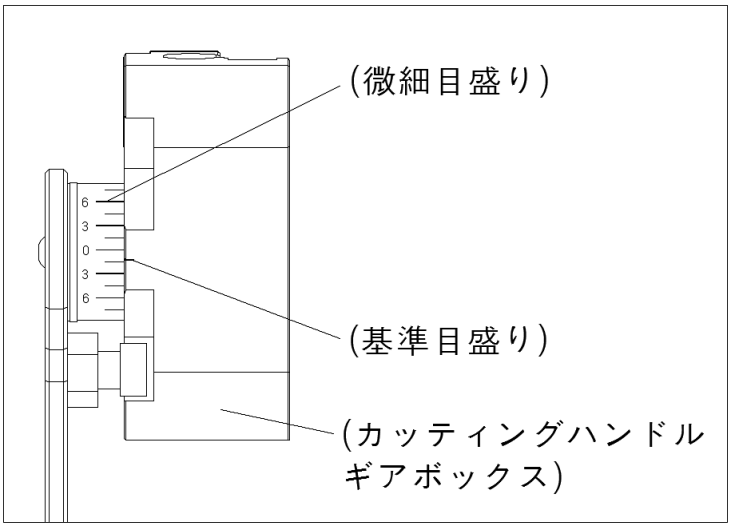


NO	名称	NO	名称
1	回転ハンドル	6	カッティングヘッド
2	回転ハンドルロック装置	7	カッティングハンドル固定ホール
3	面取ストッパー	8	面取ストッパーボルト
4	カッティングハンドル	9	カッティングハンドルクラッチ
5	カッティングハンドルギアボックス	10	バイスハンドル

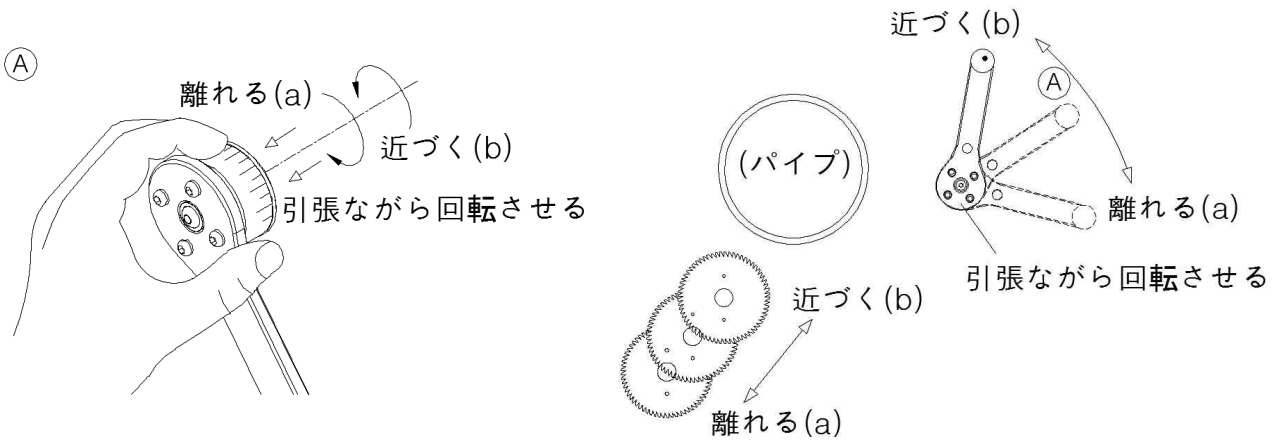
6-2　カッティングハンドルクラッチ使用方法

1)　カッティングハンドルクラッチはカッティングヘッドに装着されたカッティング刃(面取刃)の微細な調節が(進入　及び　後退)必要な場合に使用する。

2)　カッティングハンドルをカッティングハンドル固定ホールに安着させるとクラッチに表示された微細目盛りとカッティングハンドルギアボックスの基準目盛りが一致する。



3)　カッティングハンドルをカッティングハンドル固定ホールから分離した後にカッティング刃を進入させるぐらい絵(Ⓐ)のようにクラッチを引っ張ると左右回転を通じて微細に調整することができる。(クラッチに取り付いている目盛り1.5mm)



7. カッティング　及び　回転速度調節

1) カッティング速度調節

段階	区分	使用　管材
0	特殊モード	アルミニウム, PVC, チタニウム, インコネル, デュプレックス など
1	Cutiing(切断)	ステンレススチール, カーボンスチール など
2		
3		
4	Beveling(面取)	上記すべての管材
5		

2) 回転速度調節

回転ハンドルは管材厚みにより適定速度で左回り方向に回転させて作業する。(逆方向回転不可)
*注意)カッティングヘッドの回転方向は右回り

8. メンテナンス及び点検事項

● 保守及び点検時には必ず電源プラグを抜いてください。

A.　各部分に装置されているネジの点検

各部に装置されているネジが緩くなっている所はないか定期的に点検してください。
もし、緩くなっている所がありましたら、しっかり締め付けてください。 緩くなっているまま使用することは大変危ないです。

B.　配管固定用バイス点検

配管を固定させる大事な部品なので、常に点検し、適当な潤滑剤(WD-40)を塗布してください。
異常のあるバイスで作業をする時は深刻な傷害をもたらし、製品の寿命が短くなり得ます。

C.　作業場所及び作業後の保管

保管する時、金属部には潤滑剤(WD-40)を適切に塗布してからご保管ください。
作業場所は湿度が高くなく、昼夜の温度差がない室内での使用をお勧めします。
作業後は乾いた所に保管し、子供及び外部人が近付かないようにご保管ください。
長時間保管する時はビニール及びテント用の布などを使わず、通気性のよい布を使ってご保管ください。

D.　アラーム送出　及び　ヒューズ交替

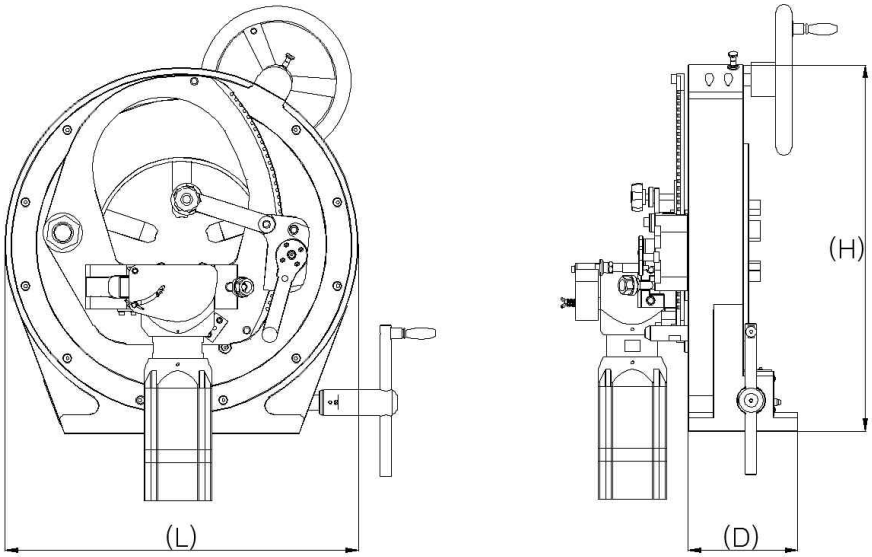
作業中に過負荷　及び　電気ショックによりアラームが送出される場合には LED灯が点滅されて電源スイッチを数秒以上 Off状態を維持(LED Off 状態確認)させるとリセットが完了する。
—モーター側面に取り付いたヒューズ(10A)を交替してください(5Φ × 20mm)

E.　製品が正常的に作動しない時

消費者が直接故障した部位を探し出したり修理したりすることは大変危ないですので最寄りのA/Sセンターまたは代理店に連絡して措置を受けてください。

9. S-□□□LT 製品諸元

● 機械仕様 / Machine Specification



	項目		単位	仕様
S-100LT	切断/面取り能力	最小/最大 口径	mm(inch)	13(1/4) / 120(4)
		最小/最大(管掌) 厚さ	mm	0.2 / 8.2(5)
		面取り角度	°	30/32/35/37.5/45
	機械諸元	サイズ(D×L×H)	mm	143 x 366 x 383
		重量	kg	47
S-150LT	切断/面取り能力	最小/最大 口径	mm(inch)	20(1/2) / 170(6)
		最小/最大(管掌) 厚さ	mm	0.2 / 8.2(5)
		面取り角度	°	30/32/35/37.5/45
	機械諸元	サイズ(D×L×H)	mm	145 x 466 x 483
		重量	kg	66
S-200LT	切断/面取り能力	最小/最大 口径	mm(inch)	60(2) / 220(8)
		最小/最大(管掌) 厚さ	mm	0.2 / 8.2(5)
		面取り角度	°	30/32/35/37.5/45
	機械諸元	サイズ(D×L×H)	mm	145 x 525 x 542
		重量	kg	77

. 切断最小厚みは10A基準です。
. 本製品の設計　及び　仕様は2016年10月のものです。
. 製品改善のために予告無しで変更される場合があります。
. 当社製品を使用する時には必ず作業マニュアルと機械上に表記された安全に関する注意事項を覚えてください。
. S-□□□LT製品はバイス爪補助装置(コレットなど)を装着すると1.0mm以上から加工が可能です。

● 電動機仕様 / Motor Specification

項目	単位	切断モーター
定格出力	W	1000
定格電圧	V	AC220 / 60Hz
定格電流	A	5.0
運転環境	-	-20℃~40℃ / 20~80%RH

● 標準付属品 / Standard Accessory

一体型工具ボックス: 標準付属品

● 選択付属品 / Option Accessory

S-□□□LT_RS : パイプ移送装置
S-□□□LT_VS : パイプスタンド
S-□□□LT_MT : 基本型マシーンテーブル

品質保証書

保証期間
1年

下記のように保証致します。

1. 本製品はDCSENG(株)の技術陣の厳密な品質管理及び検査過程を経て検査に合格した製品です。

2. 購買者の正常的な使用状態で故障が発生した場合、本保証書の内容通り購入場所または本社のサービスセンターで1年間無償で修理させて頂きます。

3. 但し、修理依頼の際の往復託送料は自己負担となります。保証期間が過ぎた場合、または使用上の不注意による故障でも修理を依頼されたら、最小限の費用で修理または部品交換を致します。

4. しかし用途変更、非正常的な磨耗、純正部品でない他社部品の使用または他のA/Sセンターで修理を受けた場合などは本保証書による品質保証を受けることができません。

5. 保証期間内であっても実費が請求される場合は次の通りです。
   ·使用者の過失による故障
   ·本製品に明示された注意事項の不履行によって発生した故障
   ·不当な修理及び改造による故障

6. 製品の修理を要請の際は、保証書を必ずご提示ください。

7. 本保証書は再発行しませんので大事にご保管ください。

製品名		保証期間	購入日から1年
モデル名		購入日付	20　年　月　日
製造番号		制造日期	20　年　月　日
顧客住所		名　前	
		電　話	
販売店住所 (商号)		名　前	

※ 本製品を販売の際は空欄に内容を必ずご記入ください。

DCSENG CO., LTD.
http://www.dcseng.co.kr

住所：忠北清州市西原地区殷すべての表面竹田里12
TEL：+82-43-256-0945　FAX：+82-43-256-0946
e-mail：dcs@dcseng.co.kr

PIPE(TUBE) CUTTER Of Best Technology

WE BUILD TOMORROW
DCSENG
DCSENG CO., LTD.
忠北清州市西原地区殷すべての表面竹田里12
T +82-43-256-0945 F +82-43-256-0946
W www.dcseng.co.kr www.s-cutter.co.kr